

図書館だより

平成24年12月19日

矢祭町立内川小学校

学校図書館担当：石井

寒くなってきましたね！こたつで読書はいかがですか？

校庭の木々も葉を落とし、すっかり冬らしい景色になってきました。教室のストーブと加湿器もフル稼働しています。寒い冬には、こたつで読書はいかがですか？

11月の図書館利用

★貸し出し冊数★ 11月・・・109冊



1人平均冊数・・・6.4冊

総ページ数・・・7113ページ

一人平均ページ数・・・418.4ページ

11月は、17人で合計109冊、一人平均6.4冊でした。11月から、金曜日の本の貸し出し冊数を2冊に増やしたこともあり、平均は目標の3倍を上回っていました！たくさん本に出会えたようです。1・2年生は10月に引き続き『いもようこのことわざシリーズ』3～6年生も『妖怪ホテルシリーズ』が人気でした。情報委員会でも、毎週木曜日に『オススメの本』の放送をお昼の時間に行っています。これからもたくさんの本と児童の皆さんが会えるよう、多くの本を紹介したいと思います。

児童のみなさんへ！！

図書室にある本は、小説や物語、絵本ばかりじゃないんです！！図鑑や料理のレシピが載っている本、写真がたくさん載っている本もあります。「本は文字ばかりだから苦手・・・。」と思っている人はいませんか？美味しそうな本、動物の息づかいが聞こえてきそうな本、見るだけで楽しい気分になれる本もあるんですよ！！ぜひ、図書室で探してみてくださいね。

クリスマスに向けて、こんな本はいかがですか？簡単にできるクッキーや、行事食なども載っています。クリスマスオーナメントや箸置きなど、小物も作れますので、作ってお家に飾ってみてはいかがですか？



たの
楽しいクリスマスに
おい
美味しいお菓子は
かし
いかがですか？



段ボールで作る おしゃれオーナメント

いろいろな形に切った段ボールに、色を塗ったリボンの素材をはりつけるだけ！ ティッシュをはるとおもしろく見えます。ワインのコルクや木の葉も使ってみて。



作り方

①段ボールを好きな形に切り、マーカーなどで色づけたり、色紙や包装紙をはって飾る。

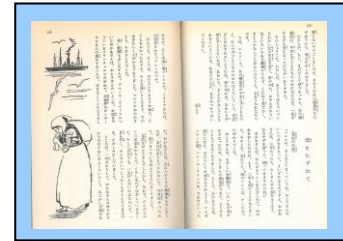
②段ボールの端のすき間にひもやリボンを通す。

クリスマスツリー
松ぼっくり
丸い木
ティッシュ
コルク
木の葉

「平山先生のおすすめの本」

説経節の「さんせう太夫」を児童向けに書いた、「安寿と厨子王丸」が大好きでした。この物語は、筑紫に流罪となった父を尋ねる途中、母は佐渡が島に行かされ、姉弟は山椒太夫に売られ、それはそれはひどい仕打ちを受け、ある日、姉は厨子王丸を逃がし、自分は沼に入り死を遂げた。母を訪ねて佐渡に渡った厨子王丸。お母さんの「安寿恋しやホーヤレホ、厨子王恋しやホーヤレホ」と、別れた悲しみに目が見えなくなったお母さんが歌っている場面は、小さいながらも思わず涙ぐんだものでした。

もう一つは、作者は、エドモント・デ・アミーチスという人で原本「クオレ」の中の一物語で、日本名が「母を訪ねて三千里」という、たくさんの苦勞をしながら長い長い旅を重ねて母を訪ねていくマルコという少年の話です。小さかったから、アルペンニーノ山脈やアンデス山脈という名前を見て、はるかに遠い険しい道のりを旅するマルコの勇敢な心と母を慕う心に感動したものでした。ぜひ、読んでみてください。



「矢部先生のおすすめの本」

先生のおすすめの本は、「ハリー・ポッター」シリーズです。このシリーズは映画にもなっていて、先生は『ハリー・ポッターと賢者の石』を観て、小説も読んでみたいと思います。小学校3年生の時に初めて第1巻を読みました。

この本は、イギリスを舞台に魔法使いの少年ハリー・ポッターの学校生活や、強大な闇の魔法使いヴォルデモート卿との戦いを描いた物語です。少し長めの本ですが、いつのまにか魔法の世界に入りこんで、夢中になって読んでいたのを見えています。

1・2年生には難しいかもしれませんが、先生のように映画からハリー・ポッターの世界に入ってみるのもいいと思います。冬休みにぜひ読んでみてください。



「熊倉先生のおすすめの本」

熊倉先生のおすすめの本は、「都会のトム&ソーヤ」です。このお話は、みなさんと同じ年の男の子2人が主人公で、『究極のゲーム』を作るために、知恵や知識を使ってさまざまなことに挑戦していくお話です。

この本を読んでいくと、困難な状況になったとき、自分が何をどうすればいいのかわいてくる本だと思います。推理小説や冒険小説の大好きな人には、特にオススメです。

他にも、本の作者である

【はやみわかおる】さんの本はどれもワクワクドキドキしたり、悲しくて胸を締めつけるような気持ちになったりします！

ぜひ、読んでみて下さいね。



保護者のみなさんへ

毎月『図書館だより』でお伝えしている6つのご提案のうち、先月は ③ お子さんのレベルにあった本を与える ④ 家族で図書館に出かける でしたが、少しでも実行できましたでしょうか？

今月も引き続き、③ お子さんのレベルにあった本を与える ④ 家族で図書館に出かける を目標にしていだければと思います。クリスマスには、それに関する絵本や写真集が書店の店頭を彩ります。その中には、仕掛け絵本やクリスマスツリーを組み立てる本など、普段の本とは少し違った楽しいものが多くあります。そういった遊びの延長から、読書にはいいいくのも良いのではないのでしょうか？

